

説明会での主な質問・意見及び回答

令和7年2月28日(金) 18:30～19:30 中瀬中学校仮設体育館 出席者10名

番号	質問・意見の概要	回答
1	令和8年3月の引越に先行して、新校舎を使用することは可能ですか。	令和8年3月の卒業式は新校舎で開催する計画としています。それ以前の使用については、なるべく早く一部校舎を使用できるよう調整してまいります。
2	工期が遅れた要因として、猛暑による影響があったとのことですが、新しい工期は、令和7年度の猛暑も考慮して設定していますか。	工事施工者と調整し、令和7年度の猛暑を考慮した計画としています。
3	体育館はいつ完成しますか。完成後すぐ使用できますか。	体育館は、新校舎と一体で令和8年1月30日に完成する予定です。その後、備品の搬入等を行い、2月下旬～3月上旬には使用できると考えております。
4	今後、地中障害物の発生はありませんか。また、これ以上工期が遅延する恐れはありませんか。	既に躯体が立ち上がってきているため、地中障害物やガスの切り回し等が生じることはありません。また、令和7年度の暑さ対策等を考慮した工期設定としているため、これ以上の工期延長はないと考えています。
5	3月は一般的に引越の繁忙期で、業者を確保しにくいと思いますが、既に契約しているのでしょうか。	引越の契約は来年度行う予定です。通常、学校の引越は2週間程度必要と考えております。契約形態は未定ですが、区内の輸送事業者が登録している組合と直接契約する方法もありますので、3月の引越は可能と考えております。
6	地中障害物やガス管の位置等は着工時に分からなかったのでしょうか。また、地盤改良はボーリング調査を実施した際に予測できたのではないのでしょうか。なぜ今の報告となったのでしょうか。	地中障害物は、既存校舎より更に前の校舎の古い地中梁等だったため、当時の図面がなく、想定できなかったものになります。地盤改良については、着工前にボーリング調査を実施し、問題ないという判断で設計を進めておりましたが、実際に施工する際に、使用する重機の重量等を考慮した結果、事故を未然に防ぐために、地盤改良を行い、より安全に工事を進めることとしました。この間、当初の契約工期内で完了するよう努めてまいりましたが、社会情勢の変化による人手不足等の要因が重なり、今回、工期延長を行う判断といたしました。
7	工期延長は、施工者や監理者の契約違反にならないのですか。	延長理由が、図面上で把握できない想定外の事象であるため、違約金等の請求は考えておりません。
8	前回の入札不調による工期延長もあり、当初の計画から新校舎の利用開始時期が大きく遅れてきており、その中で一番不自由するのは生徒だと思います。3月に先行利用という話もありますが、具体的にいつから使用できるということを明示していただきたい。	予算を計上する上で、できる限り、金額を工夫しながら発注していますが、区内、他自治体で入札不調が続いているという現状がございます。竣工後、引越等の準備がございますが、令和8年1月末には工事を完了させ、1日でも早く生徒が使用できるよう調整してまいります。

9	生徒の部活動の活動場所が限られている現状があるため、これ以上工期が遅れることがないようにしていただきたい。	工事を確実に履行しながら、少しでも早く生徒が新校舎を使用できるよう努めてまいります。
10	令和8年1月末の工期を実現するために、人材不足等への対策として新たに予算を確保する、または人員を増やす等の対策を行うのでしょうか。	この間、施工者と協議を重ね、契約金額内で対応することとしています。公共工事は、単価を割増して発注することはできないため、このまま進めさせていただく方針です。
11	工期を守ることも大切ですが、安全性を欠く工事はしていただきたくありません。改築中の校舎も生徒にとっては思い出の校舎であるため、何よりも、環境が変化していく中で、生徒が伸び伸びと生活できる環境を作っていただきたい。	安全に十分注意して、工事を進めてまいります。